

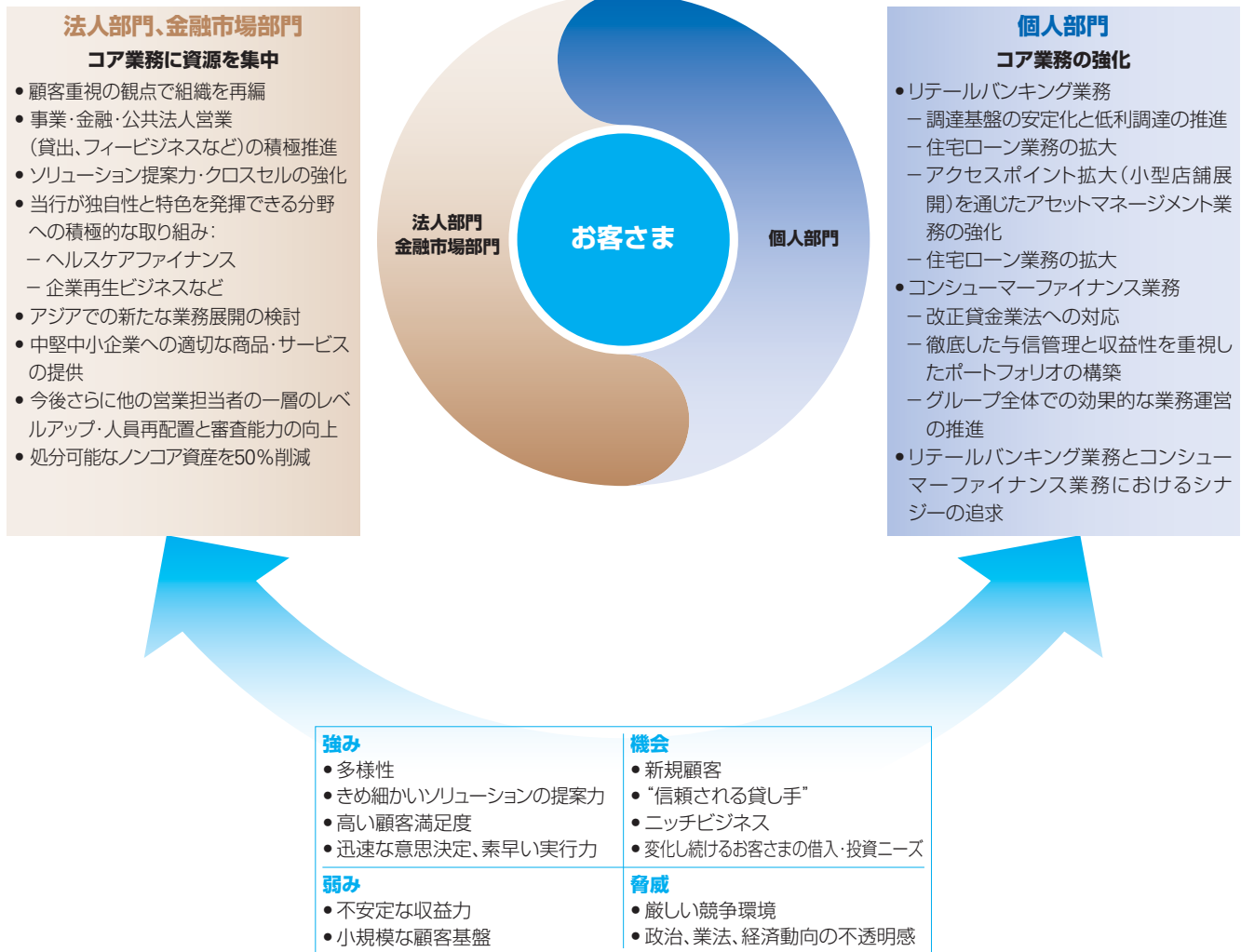
# 特集：新生銀行のビジネスモデル

## 経営理念

- 安定した収益力を持ち、国内外産業経済の発展に貢献し、お客さまに求められる銀行グループ
- 経験・歴史を踏まえたうえで、多様な才能・文化を評価し、新たな変化に挑戦し続ける銀行グループ
- 透明性の高い経営を志向し、お客さま、投資家の皆さま、従業員などすべてのステークホルダーを大切に、また信頼される銀行グループ

## 中期的な目標<sup>(注)</sup>

顧客基盤の再構築、収益力の安定化



(注)平成22年9月28日発表の中計経営計画の改訂および平成23年4月1日付の組織改編を踏まえた内容です。

# 特集：「新生銀行カードローン レイク」

銀行本体での個人向け無担保カードローンの本格実施により、中長期的な収益力強化を目指す

連結財務ハイライト

社長メッセージ

「新生銀行カードローン レイク」

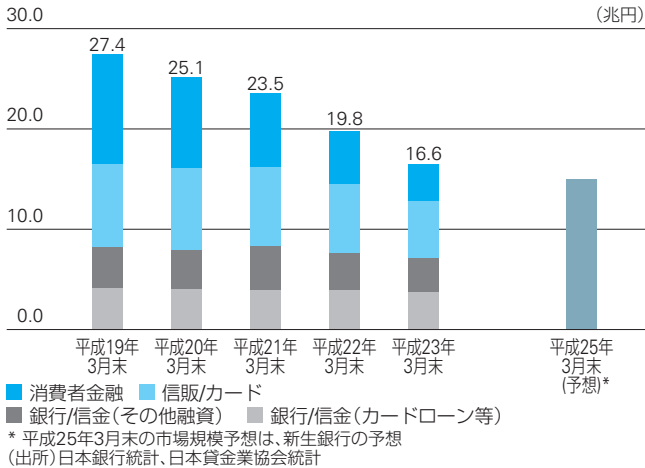
事業概況

マネジメント体制

資料編

## 個人向け無担保ローン市場の現状

### 個人向け無担保ローン市場(全体)



国内の個人向け無担保ローン市場は、平成22年の改正貸金業法の完全施行や過払利息返還問題などにより、その透明性や社会性の改善が図られる一方で、市場規模は大きく縮小し、貸し手の市場からの撤退も加速するなど、前例のない転換点にあります。

左のグラフが示すとおり、消費者金融專業による個人向け無担保ローン市場は過去4年間で約6割に縮小しています。一方、銀行のカードローンなど個人向け融資も、消費の低迷などを受け減少はしているものの、消費者金融專業、信販・カード業と比較して減少は小幅にとどまっています。当行としては、健全な個人向け小口金融に対するニーズは引き続き大きく、貸し手として円滑かつ機動的に対応していくことが求められていると考えております。

## 邦銀として初めての取り組み

上記認識を踏まえ、当行は監督官庁の認可を経て、平成23年10月1日付で連結子会社である新生フィナンシャルから、個人向け無担保ローン事業の一部事業譲渡を受けることにより、同社から「레이크」ブランド、全無人店舗および自動契約機やカードローン レイク専用ATMなど、同事業を銀行本体にて展開するのに必要な資産を取得しました。また同日付で、当行は個人向け無担保カードローン「新生銀行カードローン レイク」のサービスを開始しました。日本の銀行が大規模の無人

店舗ネットワークを展開し、個人向け無担保カードローンを本格的に実施するのは初めてとなります。

本事業にかかるマーケティング お申込受付、ご融資、顧客サービス、与信審査、債権管理などの業務は、新生銀行が行います。新生フィナンシャルにおいては、すでにご利用のお客さまへのサービスの継続と、「新生銀行カードローン レイク」および他の金融機関向けの信用保証業務の拡大により、今後とも安定的な収益を上げ、さらなる成長を図ってまいります。



信頼感   安心感



利便性   迅速性   商品性

「新生銀行カードローン レイク」では、これまで新生フィナンシャルがご提供してきた、即日のお借入や、お申し込みからお借入までご来店不要でのお手続き、提携ATM利用手数料無料、全国約800カ所の無人店舗ネットワークなど、利便性、迅速性の高いサービスをそのまま活用し、さらに、銀行の高い信頼感、安心感を併せ持つことで、従来銀行が十分にお応えできていなかった個人のお客さまの小口金融ニーズにより円滑かつ柔軟に対応し、この分野におけるリーディングバンクとして健全な市場の形成に貢献してまいります。



平成23年10月3日「新生銀行カードローン レイク」のローンチに合わせて掲載した新聞広告